

【セミナー内容】

1日目：基礎編

- サルコペニア、フレイルと脳卒中患者の嚥下障害
- 低栄養と嚥下障害
- 急性期脳卒中患者の嚥下障害
- 姿勢と嚥下機能の関連性
- 嚥下の機能評価と身体運動の関連性
- 脳卒中患者の姿勢調節障害と嚥下障害
- 総括

2日目：実践編

- 従来の嚥下リハビリテーションの課題
- 姿勢から介入する嚥下リハビリテーション
- 脳卒中患者の姿勢と呼吸、嚥下の関連性
- 理学療法介入の目的
- 作業療法介入の目的
- 言語聴覚療法の目的
- 食べられるポジショニング
- 総括

※プログラムは追加・変更になる場合がございます。

【講師】内田学 先生（理学療法士）東京医療学院大学

主な著書：『姿勢を意識した 神経疾患患者の食べられるポジショニング』『姿勢から介入する摂食嚥下 脳卒中患者のリハビリテーション（単著）』『理学療法実践レクチャー 栄養・嚥下理学療法』『脳卒中理学療法の理論と技術（第2版）』